

2012年12月6日

Free Market of・by・for Wisdom

Voluntary Open Network Multiversity

知の市場

—講座の概要—
(2013年度)

人間は多様なリスクに曝される中で技術革新や制度改革そして人材改新を通して社会変革を成し遂げながら生活してきた。しかし日本も世界も未だ多くの課題を抱えている。こうした中において自らを活かしていくために社会と世界の現況に対する理解を深めそして専門分野の展開の幅広い基盤を固めるべく、広範な教養を高めていくことが必須である。

社会の幅広い領域において諸々の機関が人々の多様な要請に応じて学習の機会を提供している。また、多彩な背景を持つ人々がそれぞれの立場で役割を担いつつ勉学に励んでいる。こうした力を糾合して新たな総合的かつ実践的な学習の機会を創成するべく「知の市場 (FMW : Free Market of・by・for Wisdom)」を構築した。

2004年度に「化学・生物総合管理の再教育講座」として開講して以来2011年度まで8年間にわたり、総合的かつ実践的な学習の機会を提供してきた。そして全国から大きな反響を得るとともに、75の開講機関や連携機関との協力関係を構築しつつ延べ3,466人の講師や延べ17,133人の応募者の人の輪を形成してきた。この成果を踏まえて2012年度は全国にさらに新たな展開を図り、765名の講師が参画して全国31拠点で80科目を開講し、2,620名の応募者が参加している。

その中で「共催講座」は、「知の市場」の理念と基本方針に沿いつつ「知の市場」の運営体制を踏まえて、連携機関の協力のもと開講機関の主催により知の市場が共催して開講する。科目(120分授業15回2単位相当)を一つの単位とし開講し、大学・大学院に準拠した厳しい成績評価を行うことを原則とする。社会と世界の現況に対する理解を深めそして専門分野の幅広い展開の基盤を固めるために広範な領域の科目を開講するが、時代の進展などに配慮しつつ適宜見直し進化する。

「関連講座」は、共催講座での経験を活かした活動、開講機関や連携機関が実施する活動、自己研鑽と自己実現に資する活動などであって知の市場の理念を共有する活動で、個々の主催者が自らの主体性と責任のもとで知の市場の基本方針を念頭に置きつつも取り巻く諸般の状況を踏まえて、講義時間と講義回数、成績評価と受講修了証などについて柔軟かつ弾力的に運営する。大学・大学院での履修科目に相当する120分授業15回の講座を科目、講義回数の少ない講座をユニット、科目を越えた長期間の講座をコースとして分類する。当面、教養編、専門編、研修編、大学・大学院編の4つの領域を設定する。

知の市場は、共催講座と関連講座の開講を通じて、自立的で解放的な協力関係を形成しながら人々が自己研鑽と自己実現のために立場を越えて自ら活動する場 (Voluntary Open Network Multiversity) である。そしてプロ人材の育成と高度な教養教育の接合及び社会人教育と学校教育の連結という二つの結合を促進する挑戦である。

2013年度は、共催講座として19拠点で38科目を、関連講座として15拠点で38科目を、合計35拠点で76科目を開講する。このうち、2013年度の新規開講科目は合計6科目にのぼる。

【体系と機能】

Free Market of・by・for Wisdom	知の市場	Voluntary Open Network Multiversity
「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社会学連携」を旗印として 実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して 人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場		

	友の会	連携学会	協力者・協力機関	学生実行委員会	知の市場事務局	協議会	評価委員会
共 催 講 座	東京・お茶の水女子大学		お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター (増田研究室)			お茶の水女子大学(東京外口茗荷谷駅、護国寺駅)	前期3科目、後期3科目、計6科目開講
	東京・西早稲田(1)労研		労働科学研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所			早稲田大学西早稲田キャンパス(東京外口西早稲田駅前)	前期1科目、後期3科目、計4科目開講
	埼玉・狭山		狭山商工会議所 狭山市			狭山市産業労働センター(西部新宿線狭山市駅前)	前期1科目、後期2科目、計3科目開講
	東京・茗荷谷(1)		化学工学会SCB・Net			お茶の水女子大学(東京外口茗荷谷駅、護国寺駅)	前期1科目、後期2科目、計3科目開講
	鳥取・倉吉		動物臨床医学研究所			伯耆しあわせの郷又は動物臨床医学研究所(JR倉吉駅)	前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	大阪・千里山		日本リスクマネジヤネットワーク			関西大学千里山キャンパス(阪急千里線関大駅前)	後期2科目、計2科目開講
	東京・戸山		国立感染症研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所			国立感染症研究所(東京外口早稲田駅、松河田駅)	前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	東京・丸の内		日本リファイン			日本リファイン(JR東京駅)	前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	東京・日本橋本町		関東化学 お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター (増田研究室)			関東化学ビル別館(JR新日本橋駅)	前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	東京・日本橋室町		三井不動産 お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセン ター(増田研究室)			三井別館(東京外口三越前駅、JR新日本橋駅)	前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	大阪・関西大学		製品評価技術基盤機構 関西大学社会安全学部 関西消費者連合会			関西大学高槻ミューズキャンパス(JR高槻駅)	前期1科目、計1科目開講
	東京・西早稲田(2)主婦連		主婦連合会 製品評価技術基盤機構 早稲田大学 規範科学総合研究所			早稲田大学西早稲田キャンパス(東京外口西早稲田駅前)	後期1科目、計1科目開講
	東京・四ツ谷(1)主婦連		主婦連合会 製品評価技術基盤機構			主婦会館(東京外口四ツ谷駅前)	前期1科目、計1科目開講
	東京・幡ヶ谷		製品評価技術基盤機構			製品評価技術基盤機構(京王線幡ヶ谷駅)	後期1科目、計1科目開講
	東京・西早稲田(3)食薬		食品薬品安全センター 主婦連合会 早稲田大学 規範科学総合研究所			早稲田大学西早稲田キャンパス(東京外口西早稲田駅前)	後期1科目、計1科目開講
	東京・四ツ谷(2)生物研		農業生物資源研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所			早稲田大学西早稲田キャンパス(東京外口西早稲田駅前)	後期1科目、計1科目開講
	東京・西早稲田(4)MUBK		三菱UFJトラストビジネス			早稲田大学西早稲田キャンパス(東京外口西早稲田駅前)	前期1科目、計1科目開講
	埼玉・狭山元気プラザ		狭山商工会議所 狭山市 アダムジャパン			狭山元気プラザ、アダムジャパン(西武新宿線狭山市駅からバス)	前期1科目、計1科目開講
	大阪・梅田		クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン			梅田阪急ビルオフィスタワー(地下鉄・阪急梅田駅、JR大阪駅前)	前期1科目、計1科目開講
	東京・早稲田大学(1)		早稲田大学 規範科学総合研究所			早稲田大学西早稲田キャンパス(東京外口西早稲田駅前)	前期1科目、計1科目開講
I ・ 教 養 編	愛知・名古屋市立大学(1)健康		名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ			名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅前)	3学期制、計3ユニット開講
	東京・茗荷谷(2)		化学工学会SCB・Net			お茶の水女子大学(東京外口茗荷谷駅、護国寺駅)	前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	東京・早稲田大学(2)		早稲田大学 規範科学総合研究所				前期1科目、後期1科目、計2科目開講
II ・ 専 門 編	東京・早稲田駅		早稲田大学 規範科学総合研究所 早稲田総研インターナショナル				後期1科目、計1科目開講
	愛知・名古屋市立大学(2)学びなおし		名古屋市立大学 学びなおし支援センター			名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅前) 東京キャンパス(慈恵会医大西新橋キャンパス、JR新橋駅)	3学期制、各期6科目、計18科目開講
	東京・明治大学		明治大学 リベティアカデミー 安全学研究所			明治大学駿河台校舎リベティアタワー(JR御茶ノ水駅)	前期1科目、後期1科目、計2科目開講
IV ・ 大 学 ・ 大 学 院 編	神奈川・川崎官前区		労働科学研究所			労働科学研究所 (小田急向ヶ丘遊園駅、横浜市営地下鉄あざみ野駅からバス)	後期1科目、計1科目開講
	東京・早稲田大学理工学部		早稲田大学 理工学術院 先進理工学部				4ユニット開講
	東京・早稲田大学理工研究科		早稲田大学 理工学術院 大学院 3研究科				4科目開講
	東京・早稲田大学農工学部		早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻				3科目開講
	東京・早稲田女子医科大学		早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻				3科目開講
	東京・明治大学理工研究科		明治大学大学院 理工学研究科 新領域創造専攻				2科目開講
	東京・お茶の水女子大学学部		お茶の水女子大学				3科目開講
東京・東京工業大学工学部		東京工業大学 工学部 高分子工学科				1科目開講	
東京・東京工業大学理工研究科		東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻				1科目開講	

知の市場の構造

— 講座の位置 —

2013年度

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">社会人教育</p>	<p>名古屋市立大学 学びなおし支援センター(18科目) 鳥取県動物臨床医学研究所(2科目) 明治大学リバティアカデミー・安全学研究所(2科目) 労働科学研究所(1科目) 日本リファイン(1科目)</p> <p style="text-align: center; color: red;">学校教育法に基づき履修証明書などを授与</p> <p style="text-align: center;">※は早稲田大学規範科学総合研究所との共催を表す。右欄も同様</p>	<p>お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター(増田研)(6科目) 化学工学会SCE・Net (5科目) 早稲田大学 規範科学総合研究所(4科目) 労働科学研究所(4科目*) 狭山商工会議所・狭山市・アダムジャパン(4科目) 日本リスクマネージャネットワーク(2科目) 関東化学・お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター(2科目) 三井不動産・お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター(2科目) 主婦連合会・製品評価技術基盤機構(1科目+1科目*) 製品評価技術基盤機構・関西大学社会安全学部・NPO法人関西消費者連合会(1科目) 早稲田総研インターナショナル(1科目*) 食品薬品安全センター・主婦連合会(1科目*) 農業生物資源研究所(1科目*) 製品評価技術基盤機構(1科目) 三菱UFJトラストビジネス(1科目) 受講修了証を授与 クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン(1科目) 日本リファイン(1科目) 名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ(3ユニット)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">社会人教育</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校教育</p>	<p>早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻(3科目) 早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻(3科目) 明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻(2科目)</p> <p style="text-align: center; color: red;">学校教育法に基づき単位を授与</p>	<p>早稲田大学理工学術院先進理工学部(4ユニット) 早稲田大学理工学術院大学院3研究科(4科目) お茶の水女子大学(3科目) 東京工業大学工学部高分子工学科(1科目) 東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻(1科目)</p> <p style="text-align: center; color: red;">学校教育法に基づき単位を授与</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校教育</p>

プロ人材の育成

高度な教養教育

知の市場

共 催 講 座

2010年度は、15拠点で317名の講師陣の参画を得て合計36科目を開講し、1,147名の応募者があった。2011年度は14拠点で363名の講師陣の参画を得て合計36科目を開講し、3月11日の東日本大震災の影響を受けて減少したが、1,000名の応募者があった。2012年度は、17拠点で469名の講師陣の参画を得て合計43科目を開講し、1198名の応募者があった。

2013年度は20拠点で394名の講師陣の参画により38科目を開講する。このうち6科目が新規科目であり、既存の開講機関が4科目、新規の開講機関が2科目を新規に開講する。

2012年度に引き続きお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）が6科目、労働科学研究所と早稲田大学規範科学総合研究所が4科目、狭山商工会議所と狭山市が3科目、化学工学会SCE-Netが3科目、動物臨床医学研究所が2科目、日本リスクマネージャネットワークが2科目、国立感染症研究所と早稲田大学規範科学総合研究所が2科目、日本リファインが2科目、製品評価技術基盤機構と関西大学社会安全学部と関西消費者連合会が1科目、主婦連合会と製品評価技術基盤機構と早稲田大学規範科学総合研究所が1科目、主婦連合会と製品評価技術基盤機構が1科目、製品評価技術基盤機構が1科目、食品薬品安全センターと主婦連合会と早稲田大学規範科学総合研究所が1科目、農業生物資源研究所と早稲田大学規範科学総合研究所が1科目、三菱UFJトラストビジネスが1科目、早稲田大学規範科学総合研究所が1科目を開講する。

また2013年度から既存科目の新規開講機関として三井不動産とお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）が2科目、クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンが1科目、狭山商工会議所と狭山市とアダムジャパンが1科目を開講する。さらに新規科目の新規開講機関として関東化学とお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）が2科目を開講する。

1. 東京・お茶の水女子大学 知の市場

(1) 開講機関

お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）

詳細は<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>

<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(3) 概要

知の市場の創始者として新規の科目や連携機関そして開講機関の培養（インキュベーション）の機能を有しているお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）は、科学と技術や社会と世界の理解に資する広範な分野の科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に3科目、後期に3科目の合計6科目を開講する。

1) 新規科目として4科目

①日本サイエンスコミュニケーション協会

くらしとバイオプラザ 21

身の回りのリスクをめぐるリスクコミュニケーションに関する科目（前期）

②社会技術革新学会

生活の安全保障の面からサウジアラビア石油の安定供給の日本にとっての意味を

考える科目（前期）

③資生堂リサーチセンター

化粧品を科学的な側面から学ぶ科目（後期）

④第二東京弁護士会環境法研究会

裁判事例を通して環境法制のあり方を考える科目（後期）

2) 継続科目として2科目

⑤日本サイエンスコミュニケーション協会

21世紀の科学技術や産業技術のリテラシーに関する科目（後期）

⑥お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）

現代人の基礎的素養としての企業法に関する科目（前期）

お茶の水女子大学の学部学生の単位取得対象科目である。単位取得希望者は知の市場に受講登録するとともに大学に履修登録する。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	10	213	152
2005	36	844	510
2006	31	659	360
2007	24	647	305
2008	10	551	290
2009	4	164	91
2010	4	136	81
2011	7(5)	207	89
2012	7(6)	前期3科目 63	
2013	6		
合計	138	3,484	1,878

(注) () 内は当初予定の科目数。(2012年12月6日現在)

なおこのほか、お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）は、関東化学と共催で2科目を日本橋本町で、三井不動産と共催で2科目を日本橋室町で開講する。

2. 東京・西早稲田（1）労研 知の市場

（1）開講機関

労働科学研究所

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は <http://www.isl.or.jp/expert/index.html> を参照する。

（2）開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

（3）概要

産業安全保健に関する研究及び調査並びに研究者の養成を目的に創立90周年を迎えた労働科学研究所は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で産業安全保健のエキスパート養成などに関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様、前期に1科目、後期に3科目の合計4科目を開講する。

1) 継続科目として4科目

①労働科学研究所

- i) 産業保健の基礎として労働科学の歴史と展開を紹介する科目（前期）
- ii) 専門的な知識と技術を有し総合的なリスクアセスメントとそれに基づく対策を自立して構築することができる職場におけるプロ人材（産業安全保健エキスパート）の育成を目指す中級の安全、健康、職場環境の3科目（後期）

「産業安全保健エキスパート認定試験二級」に合格するためには、この4科目を受講することを推奨する。

産業安全保健のプロ育成科目の受講者は、上司の許可を得た業務としての参加を原則とするが、講義に十分参加できる素養を有する場合は個人的な受講も可能である。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	4	80	80
2006	8	156	152
2007	8	200	200
2008	8	196	196
2009	8	196	196
2010	4	63	55
2011	4	34	26
2012	4	前期1科目12	
2013	4		
合計	52	937	905

(注)2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2012年12月6日現在)
なおこのほか、労働科学研究所は、上級の1科目を関連講座として単独で開講する。

3. 埼玉・狭山 知の市場

(1) 開講機関

狭山商工会議所

狭山市

詳細は <http://www.sayama-cci.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

狭山市産業労働センター（西武新宿線狭山市駅前）

(3) 概要

埼玉県において最大の出荷額を有する狭山市と狭山商工会議所は、その特徴を活かして地域とともに全国に狭山市の特徴を発信するために企業、教育等に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に2科目の合計3科目を開講する。

1) 継続科目として3科目

①狭山商工会議所・狭山市

ものづくり企業シリーズとして狭山工業団地とその周辺の企業の歴史、概要、技術などの紹介に関する科目（前期）

②狭山商工会議所・狭山市

ものづくりシリーズとして川越狭山工業団地とその周辺の企業の歴史、概要、技術などの紹介に関する科目（後期）

③狭山商工会議所・狭山市

狭山市の中学生を対象とした経済キャリア教育に関する科目（後期）

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	2	38	27
2012	5	前期 3 科目 48	
2013	3		
合計	10	86	27

(2012年12月6日現在)

なおこのほか、狭山商工会議所と狭山市はアダムジャパンと共催で1科目を狭山元気プラザ及びアダムジャパンで開講する。

4. 東京・茗荷谷 (1) 知の市場

(1) 開講機関

化学工学会 SCE・Net

詳細は http://www.sce-net.jp/shakai_jinkyouiku.html を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(3) 概要

色々な分野で活動してきた化学技術者が長年の実務経験を通じて蓄積してきた知識と技術を次代へ伝承することを目的とする化学工学会 SCE・Net は、化学技術分野の科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に2科目の合計3科目を開講する。

1) 継続科目として3科目

①化学工学会 SCE・Net

- i) 技術開発における研究から事業化へ道のりに関する科目 (前期)
- ii) 環境に関する諸問題の解決と化学技術との係わりを論じる科目 (後期)
- iii) 化学工業とその製品の社会との関係を論じる科目 (後期)

修了者には受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり5,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	7	111	65
2006	7	90	51
2007	7	122	54
2008	3	106	45
2009	2	58	36
2010	2	53	24
2011	4	117	42
2012	4	前期 2 科目 37	
2013	3		
合計	39	694	317

(注)2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2012年12月6日現在)

なおこのほか、化学工学会 SCE・Net は、原子力・放射能に関する科目とエネルギーシステムに関する2科目を、関連講座として開講する。

5. 鳥取・倉吉 知の市場

(1) 開講機関

動物臨床医学研究所

鳥取県動物臨床医学研究所が2011年4月1日から動物臨床医学研究所に改称された。

詳細は<http://www.dourinken.com/> を参照する。

(2) 開催場所

動物臨床医学研究所 (JR 倉吉駅)

(3) 概要

獣医学に関する臨床的研究はもとより、獣医医療の従事者の教育・養成などの人材育成などに長期間にわたって取り組んできた動物臨床医学研究所は、動物医療に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 新規科目として2科目

①動物臨床医学研究所

小動物を対象に日常的に役立つ動物医療技術の向上のための教育と症例検討などに関する2科目 (前期) (後期)

動物医療の中でも伴侶動物医療の近年の発展は目を見張るものがあるが、急速な発展の中にひずみが発生しているのも事実である。医療には生き物的要素があり急速な変化に対応不能な面もあるため臨床獣医学のありようを再考しつつ、原点であるひとつひとつの症例を大事に検証して、そのありようを検討するために講義内容を毎年全面的に更新している。

受講対象者は獣医師、獣医系大学学生、動物看護師に限る。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり1,000円、学生は500円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2010	2	146	83
2011	2	135	44
2012	2	前期1科目 67	
2013	2		
合計	8	348	127

(2012年12月6日現在)

6. 大阪・千里山 知の市場

(1) 開講機関

日本リスクマネージャネットワーク

詳細は<http://www.jrmn.net/>を参照する。

(2) 開催場所

関西大学千里山キャンパス (阪急千里線関大前駅)

(3) 概要

リスクマネジメントの普及や支援に取り組むとともにリスクマネージャとしての資質を磨き、社会の安全、安心の向上に資することを目的に活動する日本リスクマネージャネットワークは、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で病虫害の防除や環境問題に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様、後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①日本環境動物昆虫学会

- 防疫薬などの薬剤の開発、社会的役割そして安全性などに関する科目（後期）
- ②日本リスクマネージャネットワーク
- 最新のトピックや身近な関心事を含めた環境問題の基礎に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2009	2	43	30
2010	3	39	31
2011	3	27	16
2012	2		
2013	2		
合計	12	109	77

(注)2009年度は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2012年12月6日現在)

7. 東京・戸山 知の市場

(1) 開講機関

国立感染症研究所

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>を参照する。

(2) 開催場所

国立感染症研究所（東京メトロ早稲田駅、若松河田駅）

(3) 概要

我が国唯一の感染症に関する総合的な研究を行う国立感染症研究所は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で感染症とその防御に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①国立感染症研究所

世界的に課題となっている感染症に関する科目（前期）

感染症の防御を中心とした科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2	前期1科目 33	
2013	2		
合計	4	33	

(2012年12月6日現在)

8. 東京・丸の内 知の市場

(1) 開講機関

日本リファイン

詳細は<http://www.n-refine.co.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

日本リファイン（JR 東京駅）

(3) 概要

製造プロセスで使用された溶剤を回収し精製することにより環境に配慮した循環型産

業の構築を目指す日本リファインは、化学物質のリスク管理に関する科目と産業安全を
経営に活かす科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を
開講する。

1) 継続科目として2科目

①化学生物総合管理学会

国際的な化学物質総合管理の展開と競争力向上に関する科目（前期）

②社会技術革新学会・石油化学工業協会

競争力ある安全な産業と社会の構築に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2(1)	前期1科目 97	
2013	2		
合計	4	97	

(注) () 内は当初予定の科目数。 (2012年12月6日現在)

9. 東京・日本橋本町 知の市場

(1) 開講機関

関東化学

お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）

2013年度から新規開講機関として関東化学が知の市場に参画する。

詳細は

<http://www.kanto.co.jp/chinoichiba/>

<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>

<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

関東化学ビル別館（東京メトロ三越前駅、JR 新日本橋駅）

(3) 概要

様々な産業や社会を支える試薬を東京・日本橋を拠点として全国に供給する関東化学は、
石油供給に関する科目と株式会社の組織と運営に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を
開講する。

1) 新規科目として2科目

①社会技術革新学会

石油、ガスなどのエネルギー資源の供給構造の変化がもたらす政治的・経済的意味
を検証する科目（前期）

②お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）

国際比較の視点から株式会社の組織と運営を論じる科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	2		
合計	2		

(2012年12月6日現在)

10. 東京・日本橋室町 知の市場

(1) 開講機関

三井不動産
お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）
2013年度から新規開講機関として三井不動産が知の市場に参画する。
詳細は

<http://www.nihonbashi-tokyo.jp/>
<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>
<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

三井別館（東京メトロ三越前駅、JR 新日本橋駅）

(3) 概要

成熟化・グローバル化する社会・経済において、東京日本橋を拠点に全国に不動産ソリューションを提供している三井不動産は、事業のグローバル化に関する科目と知的財産権に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①社会技術革新学会

事業のグローバル化の基盤に関する科目（前期）

②プロメテ国際特許事務所

知的財産権の意義・制度・戦略に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	2		
合計	2		

(2012年12月6日現在)

11. 大阪・関西大学 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構
関西大学社会安全学部
関西消費者連合会
詳細は <http://www.nite.go.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

関西大学高槻ミュージズキャンパス（JR 高槻駅）

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成することを目指す関西大学社会安全学部や関西を拠点とする消費者団体である関西消費者連合会との共催で事故原因の究明などの製品安全分野に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様に、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

2011 年度に製品評価技術基盤機構と関西消費者連合会の共催で開講した科目を継承して、製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（前期）

この科目は、製品評価技術基盤機構、関西大学社会安全学部、関西消費者連合会の共催で大阪にて前期に開講するほか、主婦連合会、製品評価技術基盤機構、早稲田大学規範化学総合研究所の共催で後期に東京（早稲田大学西早稲田キャンパス）にて開講する。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	35	28
2011	1	15	8
2012	1	前期 1 科目 50	
2013	1		
合計	16	525	291

(注)2009 年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2012 年 12 月 6 日現在)

なおこのほか、製品評価技術基盤機構は主婦連合会と共催で 1 科目を東京・四ツ谷で、単独で 1 科目を東京・幡ヶ谷で開講する。

1 2. 東京・西早稲田（2）主婦連 知の市場

(1) 開講機関

主婦連合会

製品評価技術基盤機構

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は <http://www.shufuren.net/>、<http://www.nite.go.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(3) 概要

安全・安心な暮らしの実現をめざして消費者運動を先導してきた主婦連合会と製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の 4 分野で活動する製品評価技術基盤機構は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で製品安全分野に関する科目を開講する。

2013 年度は、次の連携機関と協力して、2012 年度と同様、後期に 1 科目を開講する。

1) 継続科目として 1 科目

①製品評価技術基盤機構

製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（後期）

この科目は 2011 年度からインターネットにより全国に配信を行っている。

この科目は、主婦連合会、製品評価技術基盤機構、早稲田大学規範化学総合研究所の共催で後期に東京（早稲田大学西早稲田キャンパス）にて開講するほか、製品評価技術基盤機構、関西大学社会安全学部、関西消費者連合会の共催で大阪にて前期に開講する。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	82	57
2011	1	81	46
2012	1		
2013	1		
合計	16	588	358

(注)2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2012年12月6日現在)

なおこのほか、主婦連合会は製品評価技術基盤機構と共催で1科目を東京・四ツ谷で、食品薬品安全センターおよび早稲田大学規範科学総合研究所と共催で1科目を東京・西早稲田で開講する。

1.3. 東京・四ツ谷 (1) 主婦連 知の市場

(1) 開講機関

主婦連合会

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.shufuren.net/>、<http://www.nite.go.jp/> を参照する。

(1) 開催場所

主婦会館 (JR、東京メトロ四ツ谷駅前)

(2) 概要

安全・安心な暮らしの実現をめざして消費者運動を先導してきた主婦連合会と製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、共催で化学物質のリスク評価とリスク管理に関する分野の科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構・主婦連合会

化学物質に関するリスク評価とリスク管理の基礎知識やリスクコミュニケーションの重要性などに関する科目 (前期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	1	46	28
2012	1	前期1科目 53	
2013	1		
合計	3	99	28

(2012年12月6日現在)

1.4. 東京・幡ヶ谷 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.nite.go.jp/> を参照する。

- (2) 開催場所
製品評価技術基盤機構（京王線 幡ヶ谷駅）

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、微生物資源とバイオ安全に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

微生物資源の活用とバイオ安全の基礎知識に関する科目（後期）

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	1		
合計	1		

(2012年12月6日現在)

1.5. 東京・西早稲田（3）食薬 知の市場

(1) 開講機関

食品薬品安全センター

主婦連合会

早稲田大学 規範科学総合研究所

詳細は <http://www.fdsc.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(3) 概要

食品、医薬品、医療機器に関わる化学物質の安全性に関する研究と試験を行なう食品薬品安全センターと安全・安心な暮らしの実現をめざして消費者運動を先導してきた主婦連合会は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で食品の安全分野の科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①食品薬品安全センター

食品の安全について、食品衛生検査の精度管理の実際、食品の安全性試験の基礎、機能性食品の安全性確保における問題点などに関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2009	1	47	26
2010	1	34	27
2011	1	32	24
2012	1		
2013	1		
合計	5	113	77

(2012年12月6日現在)

1 6. 東京・四ツ谷 (2) 生物研 知の市場

(1) 開講機関

農業生物資源研究所

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は <http://www.nias.affrc.go.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

主婦会館 (JR、東京メトロ四ツ谷駅前)

(3) 概要

農業分野における生命科学やバイオテクノロジーの研究開発を進めることにより農業技術の発達に貢献するとともにこれまでにない新たな生物産業を創出することを目的とする農業生物資源研究所は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で農業生物資源の利用に関する科目を開催する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①農業生物資源研究所

バイオテクノロジーで拓く食料、医療など農業生物資源の利用と未来に関する科目
(後期)

この科目は2012年度からインターネットによる全国配信に取り組む。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2006	1	11	7
2007	1	21	16
2008	2	56	32
2009	1	52	28
2010	1	63	29
2011	1(0)	18	5
2012	1		
2013	1		
合計	9	221	117

(注)2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2012年12月6日現在)

() 内は当初予定の科目数。

1 7. 東京・西早稲田 (4) MUBK 知の市場

(1) 開講機関

三菱UFJトラストビジネス

詳細は <http://www.mubk.co.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田大学 西早稲田キャンパス (東京メトロ 西早稲田駅)

(3) 概要

銀行事務に対する代行や支援などの金融分野で活動する三菱UFJトラストビジネスは、金融に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度同様、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①三菱UFJ トラストビジネス

資産運用、投資、与信などの金融業務に係るリスクとリターンに関する科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	1	前期 1 科目 24	
2013	1		
合計	2	24	

(2012年12月6日現在)

18. 埼玉・狭山元気プラザ 知の市場

(1) 開講機関

狭山商工会議所

狭山市

アダムジャパン

2013年度から新規開講機関としてアダムジャパンが知の市場に参画する。

詳細は<http://www.sayama-cci.or.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

狭山元気プラザ、アダムジャパン（西武新宿線 狭山市駅からバス）

(3) 概要

埼玉県において最大の出荷額を有する狭山市と狭山商工会議所は、ビリヤードの用具の生産において世界を先導するアダムジャパンと共催で、その特徴を活かして地域とともに全国に狭山市の特徴を発信するためにもものづくりに関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①アダムジャパン・狭山商工会議所・狭山市

ものづくりシリーズとしてビリヤードとその道具に関する科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	1		
合計	1		

(2012年12月6日現在)

19. 大阪・梅田 知の市場

(1) 開講機関

クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン

2013年度から新規開講機関としてクレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンが知の市場に参画する。

詳細は<http://www.kureha-battery.co.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

梅田阪急ビルオフィスタワー（地下鉄・阪急梅田駅、JR大阪駅前）

(3) 概要

リチウムイオン二次電池の材料を世界に供給するクレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンは、リチウムイオン二次電池の開発に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン・社会技術革新学会

リチウムイオン2次電池の開発の歴史に見る技術革新と経営変革の成否の要因を論じる科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	1		
合計	1		

(2012年12月6日現在)

20. 東京・早稲田大学 知の市場

(1) 開講機関

早稲田大学 規範科学総合研究所

詳細は<http://www.waseda.jp/prj-iirs/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(3) 概要

化学物質や生物そして医療分野におけるリスクの総合管理に関して社会の認識の向上を図り持続可能な発展に資するため、学生・院生を含む社会人を対象に開講する実践を通して、科学的知見と論理的思考によって規範を構築するあり方や規範科学（レギュラトリーサイエンス）に関わる教育のあり方などについて調査研究を行う早稲田大学規範科学総合研究所は、農薬の総合管理に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①早稲田大学規範科学総合研究所

農薬のベネフィットとリスクの総合管理に関する科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	2	51	28
2005	4	114	66
2006	5	128	73
2007	5	119	67
2008	5	150	77
2009	7	227	134
2010	7	214	93
2011	7(11)	205	72
2012	5(6)	前期3科目 81	
2013	1		
合計	51	1,289	610

(注)2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2012年12月6日現在)

()内は当初予定の科目数。

また、このほか早稲田大学規範科学総合研究所は、国立感染症研究所と共催で2科目、主婦連合会および製品評価技術基盤機構と共催で1科目、食品薬品安全センターおよび主婦連合会と共催で1科目、農業生物資源研究所と共催で1科目、単独で1科目を開講する。さらに、早稲田大学規範科学総合研究所は、2012年度まで共催講座として開講していた4科目を2013年度は関連講座に移動し、科学と社会事例研究1及びナノ材料総合管理及び環境政策はこの2科目を単独で西早稲田で、動物総合管理1の1科目を早稲田総研インターナショナルと共催で早稲田駅で開講する。なお、ナノ材料総合管理は2013年度後期に開講を予定しているが、2013年6月に最終決定する。

関 連 講 座

2010年度は、教養編3ユニット、専門編14科目と1ユニット、研修編1(19科目相当)コース、大学・大学院編8ユニットと19科目、16拠点で12ユニット、33科目、1コース(19科目相当)の合計46科目(64科目相当)を開講し、2,839名の応募者があった。2011年度は、教養編3ユニット、専門編11科目、研修編1コース(19科目相当)、大学・大学院編6ユニットと22科目、16拠点で9ユニット、33科目、1コース(19科目相当)の合計43科目(61科目相当)を開講し、1,756名の応募者があった。2012年度は、14拠点で11ユニット、26科目の合計37科目を開講し、現段階で1,422名の応募者があった。

2013年度は、15拠点で7ユニット、31科目の合計38科目を開講する。このうち3科目が共催講座より関連講座に移動した科目である。

2013年度は2012年度から継続して、教養編として名古屋市立大学大学院の主催で3ユニット、化学工学会SCE・Netが2科目、専門編として名古屋市立大学 学びなおし支援センターの主催で6科目、明治大学リバティアカデミー、明治大学安全学研究所、明治大学大学院の共催で2科目、労働科学研究所の主催で1科目、大学・大学院編として早稲田大学が4ユニット、早稲田大学大学院が4科目、早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻が3科目、早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻が3科目、明治大学大学院が2科目、お茶の水女子大学が3科目、東京工業大学が1科目及び東京工業大学大学院が1科目を開講する。

また2013年度に共催講座から関連講座に移動する科目を、教養編として早稲田大学規範科学総合研究所が3科目、早稲田大学規範科学総合研究所と早稲田総研インターナショナルが1科目開講する。

I. 教養編

1. 愛知・名古屋市立大学(1) 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジ

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/philanthropy/opencollege.html> を参照する。

(2) 開催場所

名古屋市立大学 川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅前)

(3) 概要

市民の日々の生活を実りあるものにし将来の生活設計に資するために、名古屋市立大学医学部の基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を市民にわかりやすく解説し自己研鑽と再学習の場を提供することを目的とする名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジは、医療・健康に関する基礎的な科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様に、3期に分けて3ユニットを開講する。

1) 継続科目として3ユニット

①名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジ

健康科学に関する3ユニット(第1、2、3期講座)

講師陣は名古屋市立大学大学院医学研究科の教員を中心に、各ユニットのコーディネーターの下で学内他研究科の教員そして外部の研究者や実務家も参加している。受講者は大学生・大学院生も含めて医療・福祉関係や教育関係など幅広い社会人を応募対象とする。

90分授業8回からなるユニットを毎年開講する。金曜日（18時30分～20時）に開催する。

6回以上の出席者には修了証を発行する。受講料は1ユニットあたり8,000円である。

開催年度	ユニット数	受講者数	修了者数
2005	5	403	284
2006	6	497	390
2007	6	412	342
2008	6	371	256
2009	3	222	175
2010	3	227	173
2011	3	180	137
2012	3	第1期1ユニット79	
2013	3		
合計	38	2,391	1,757

(2012年12月6日現在)

2. 東京・茗荷谷（2） 知の市場

(1) 開講機関

化学工学会 SCE・Net

詳細は <http://www.sce-net.jp/shakaijinkyuiku.html> を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(3) 概要

色々な分野で活動してきた化学技術者が長年の実務経験を通じて蓄積してきた知識と技術を次代へ伝承することを目的とする化学工学会 SCE・Net は、化学技術に関わる教養講座を共催講座として開講してきたが、社会で関心を持たれているより広い分野の技術や事柄について基礎知識を提供する目的で、1科目15講義に満たない短期講座を新たに設け、原子力と放射線やエネルギーの供給と消費に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として2ユニット

①化学工学会 SCE・Net

原子力と放射線の基礎に関するユニット（前期）

②ブルーアース

エネルギーの供給と消費の変革に関するユニット（後期）

講師は当該分野で経験を積んだ現役あるいはシニアの化学技術者が当たる。

全講義の70%以上出席した受講者には、化学工学会 SCE・Net が受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり3,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2	前期1科目50	
2013	2		
合計	4		

(2012年12月6日現在)

3. 東京・早稲田大学（2） 知の市場

(1) 開講機関

早稲田大学 規範科学総合研究所

詳細は <http://www.waseda.jp/prj-iirs/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(3) 概要

2013 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 1 科目、後期に 1 科目の合計 2 科目を共催講座から移行して開講する。

1) 継続科目として 3 科目（共催講座より移動）

①早稲田大学規範科学総合研究所

i) 科学と技術や社会と世界の広範な事柄について幅広く自由に論じる科目（前期）

ii) 環境に関する科学や政策に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	2	51	28
2005	4	114	66
2006	5	128	73
2007	5	119	67
2008	5	150	77
2009	7	227	134
2010	7	214	93
2011	7(11)	205	72
2012	5(6)	前期 3 科目 81	
2013	3		
合計	53	1,289	610

(2012年12月6日現在)

(注) 2012 年度以前は早稲田大学規範科学総合研究所が共催講座として開講してきた値を示す。

() 内は当初予定の科目数。

4. 東京・早稲田駅 知の市場

(1) 開講機関

早稲田総研インターナショナル

早稲田大学 規範科学総合研究所

詳細は <http://www.waseda.jp/prj-iirs/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田総研インターナショナル（東京メトロ早稲田駅）

(3) 概要

早稲田大学で培われた知的資源の社会還元を使命とする早稲田総研インターナショナルは、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で動物と人との関係に関する科目を開講する。

2013 年度は、次の連携機関と協力して、後期に 1 科目を共催講座から移行して開講する。

1) 継続科目として 1 科目（共催講座より移動）

①日本獣医師会

獣医学の視点から見た動物と人との関係に関する科目（前期）

この科目は2011年度からインターネットにより全国に配信を行っている。

受講料は1講義あたり1000円であり、1科目受講すると12000円、1ユニット受講すると4000円である。なお、修了者で動物看護師統一認定機構への申請のための証明書の発行を希望する場合には1通500円で発行する。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	2	51	28
2005	4	114	66
2006	5	128	73
2007	5	119	67
2008	5	150	77
2009	7	227	134
2010	7	214	93
2011	7(11)	205	72
2012	5(6)	前期3科目81	
2013	1		
合計	51	1,289	610

(2012年12月6日現在)

(注)2012年度以前は早稲田大学規範科学総合研究所が共催講座として開講してきた値を示す。

()内は当初予定の科目数。

II. 専門編

5. 愛知・名古屋市立大学(2) 学びなおし

(1) 開講機関

名古屋市立大学学びなおし支援センター

詳細は<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/>を参照する。

(2) 開催場所

名古屋：名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

(3) 概要

医療保健分野の人材不足を補うため、職場復帰と高度医療に対応できる能力の向上を支援することを目的とする名古屋市立大学学びなおしセンターは、専門分野に応じた柔軟な選択科目から構成する自己研鑽プログラムを開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様に、前期に3科目、後期に3科目の合計6科目を開講する。

1) 継続科目として6科目

①名古屋市立大学学びなおし支援センター

医療保健に関する6科目（前期）（前期）

医療と保健分野の国家資格保有者を対象としたコース制（医療専門コース、医療技能コース、健康・保健コース）での受講とスポット科目での受講があり、スポット科目での受講は一部受講制限のある実習科目を除き一般の者も受講可能である。

受講修了した国家資格保有者については、受講修了証を発行するほか、履修証明試験の成績に応じて学校教育法に基づく履修証明書を授与するとともに就職支援もおこなう。一般の受講者については受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり5,000円である。

講座受講中は学内「さくら保育所」の一時託児サービス(1回2,000円)も利用できる。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2008	7(6科目は12月開講)	248	194
2009	18	1008	459
2010	10	990	399
2011	6	257	182
2012	6	前期3科目105	
2013	6		
合計	53		1,234

(2012年12月6日現在)

6. 東京・明治大学 知の市場

(1) 開講機関

明治大学リバティアカデミー

明治大学安全学研究所

明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻

詳細は <http://www.meiji.ac.jp/sst/grad/>

<http://academy.meiji.jp/ccs/index.html> を参照下さい。

(2) 開催場所

明治大学駿河台校舎リバティタワー (JR 御茶ノ水駅)

(3) 概要

明治大学の生涯教育の拠点である明治大学リバティアカデミーと安全学の教育・普及の拠点である明治大学安全学研究所及び次の時代を担う新しい領域とそれに挑戦する人間集団を目指す明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻は、共催で安全分野に関する科目を開講する。

2013年度は、次の連携機関と協力して、2012年度と同様、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻・明治大学 リバティアカデミー

i) 暮らしの中の安全の検証と社会の中に安全を創るための方策について論じる科目 (前期)

ii) 製品と機械の安全及びリスクアセスメントに関する科目 (後期)

120分授業16回からなる科目を前期に1科目、後期に1科目、計2科目開講する。

修了者には修了証を発行する。受講料は1科目あたり10,000円である。

開催年度	科目・ユニット数	受講者数	修了者数
2005	2ユニット	169	17*
2006	3ユニット	308	186
2007	4ユニット	100	84
2008	4ユニット	119	90
2009	4ユニット	326	199
2010	2科目	144	144
2011	2科目	122	90
2012	2科目	70	
2013	2科目		
合計	25	1,358	810

* : 1科目は修了証発行せず

(2012年12月6日現在)

7. 神奈川・川崎宮前区 知の市場

(1) 開講機関

労働科学研究所

詳細は <http://www.isl.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

労働科学研究所（小田急線 向ヶ丘遊園駅又は横浜市営地下鉄あざみ野駅からバス）

(3) 概要

産業安全保健に関する研究及び調査並びに研究者の養成を目的に創立 90 周年を迎えた労働科学研究所は、産業安全保健のエキスパート養成などに関する科目を開講する。

2013 年度は、次の連携機関と協力して、後期に 1 科目を開講する。

1) 継続科目として 1 科目

①労働科学研究所

- i) 共催講座として開講する安全、健康、職場環境の 3 つの中級科目の修了者を対象に産業安全保健の実践に関する最新の情報や多様な技術を習得するとともに、それらの知識や技術を統合して企業において産業安全保健活動を推進できる能力をもつ者を育成するための上級科目（後期）

また、労働科学研究所が資格認定試験を行う予定で準備をしている。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は 100,000 円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	2	3	2
2012	2		
2013	1		
合計	5	3	2

(2012 年 12 月 6 日現在)

IV. 大学・大学院編

大学や大学院での正規の単位取得対象科目として開講される科目やユニットを次の市場の関連講座として位置づける。2010年度は10拠点で15科目、8ユニット、2011年度は10拠点で17科目、6ユニット、2012年度は9拠点で16科目、6ユニットを開講した。2013年度は、8拠点で17科目、4ユニットを開講する。

大学・大学院	科目名	種別	学科・連携機関
早稲田大学 理工学術院 先進理工学部	生命科学概論 A (総合機械)	ユニット	総合機械学科
	生命科学概論 A (建築・電子光・経営・資源・社会工学)	ユニット	建築・電子光・経営・資源・ 社会工学科
	生命科学概論 A (化学・応化)	ユニット	化学・応用化学科
	生命科学概論 B (生医)	ユニット	生命医科学科
早稲田大学 理工学術院 大学院 3 研究科	化学物質総合管理学	科目	先進理工学研究科
	食農総合管理学 (隔年、2013 年度開講せず)	科目	先進理工学研究科
	感染症総合管理学(隔年開講)	科目	先進理工学研究科
	生活環境総合管理学(隔年開講)	科目	先進理工学研究科
	医薬総合管理学	科目	武田薬品工業
早稲田大学大学院・ 東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻	化学物質総合管理学	科目	共同先進健康科学専攻
	食農総合管理学 (隔年、2013 年度開講せず)	科目	共同先進健康科学専攻
	感染症総合管理学(隔年開講)	科目	共同先進健康科学専攻
	生活環境総合管理学(隔年開講)	科目	共同先進健康科学専攻
早稲田大学大学院・ 東京女子医科大学大学院 共同生命医科学専攻	化学物質総合管理学	科目	共同先端生命医科学専攻
	食農総合管理学 (隔年、2013 年度開講せず)	科目	共同先端生命医科学専攻
	感染症総合管理学(隔年開講)	科目	共同先端生命医科学専攻
	生活環境総合管理学(隔年開講)	科目	共同先端生命医科学専攻
明治大学大学院理工学 研究科 新領域創造専攻	安全学特論	科目	新領域創造専攻
	新領域創造特論 3	科目	新領域創造専攻
お茶の水女子大学	リスク管理 (演習)	科目	生活世界の安全保障科目
	社会技術革新学概論 (隔年開講)	科目	生活世界の安全保障科目
	安全管理概論	科目	基礎講義科目
お茶の水女子大学大学院	化学物質総合管理学 (隔年、2013 年度開講せず)	科目	自然応用科学系ライフサイエンス 専攻人間環境科学コース
東京工業大学 工学部 高分子工学科	社会技術革新学概論 (隔年開講)	科目	高分子工学科
東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻	資源・エネルギー・安全論	科目	化学工学専攻

開講機関	開講年度			2010			2011			2012			2013			合計		
	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数
早稲田大学 理工学術院 先進理工学部	6 ユニット	723	650	5 ユニット	673	635	4 ユニット	592		4 ユニット			19 ユニット	1988	1285			
早稲田大学 理工学術院 大学院 3 研究科	3 科目 1 ユニット	65	33	4 科目 1 ユニット	106	75	3 科目	43		4 科目			14 科目 2 ユニット	214	85			
早稲田大学大学院・東京農工大学大学院共同先進健康科学専攻	3 科目	15	15	4 科目	24	24	3 科目	7		3 科目			13 科目	49	30			
早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻	3 科目	2	2	4 科目	0	0	3 科目	0		3 科目			13 科目	2	2			
明治大学大学院理工学研究科 新領域創造専攻	4 科目	55	49	2 科目	28	25	2 科目	8		2 科目			10 科目	91	64			
お茶の水女子大学	1 科目 1 ユニット	152	131	3 科目	128	104	2 科目	68		3 科目			9 科目 1 ユニット	348	235			
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科	1 科目	3	3	(隔年開講)	—	—	1 科目	6		—			2 科目	9	3			
福山大学大学院 工学研究科	2 科目	4	4	2 科目	88	19	—	—		—			4 科目	92	23			
東京工業大学工学部 高分子工学科	1 科目	33	29	1 科目	31	29	1 科目	30		1 科目			4 科目	64	58			
東京工業大学大学院理工学研究科 化学工学専攻	1 科目	22	18	1 科目	21	19	1 科目	22		1 科目			4 科目	65	37			
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	—	—	—	1 科目	5	2	—	—		—			1 科目	5	2			
合計		1074	934		1104	932		776						2954	1866			

(2012 年 12 月 6 日現在)